

温海町森林組合 第二次中期「経営ビジョン・経営計画」(H30～R4)

経営理念 (社会的使命、行動基準、事業領域)

本組合は、森林の保続培養と生産力の増進をもって、豊かな森林資源の新しい価値を創造して有効活用を図り、森林・林業活動を通じて組合員の満足度及び経済的社会的地位の向上とともに地域経済の発展に寄与する。また、組織の成長を目指し、広く社会を構成する一員として基本的使命と社会的責任を果たし、夢ある地域の未来づくりに貢献する。

経営方針 (経営の目的・方向)

1. 組合員が森林・林業に魅力を感じられるよう、引き続き成熟した人工林生産の増進を図るとともに、林地の活用などにより偏った林齢構成の是正に取り組む。
2. 開かれた組合運営に努め、事業の透明性をもって組合員と地域の信頼・信用を得て事業を確保し、生産性のさらなる効率化を追求して、林業収益の増高を目指す。
3. 豊かな森林資源の有効活用と持続可能な林業経営を提供して地域振興を牽引し、森林の多面的機能の発揮と山村の活性化に貢献する。
4. 従業員行動規範をもって、役員と全職員が同じくして目標を共有し、一人ひとりが業務の意思決定に参画する度合いを高め組合経営への参加意識を醸成して、組織力を向上し経営の安定を図る。

経営ビジョン (5年後のなりたい姿・形)

1. 急傾斜地等に適応する架線系システム技術の習得と資本整備を整備し、施業活動エリアの拡大を図る。
2. 増大する成熟した人工林資源の有効活用を促進するため、提案型集約施業を搬出間伐中心から、皆伐を年間20haにまで増加させ、年間木材生産量2万5千m³を目標として、皆伐と一体とする再造林を進め、持続可能な山づくりに取り組む。
3. 皆伐施業による木材生産量の増大に向け、生産性の向上とともに、再造林を推進するため新たな人材の育成と地域内の法人等との連携で雇用を確保し、木材生産と造林を両輪とする実行体制の構築を図る。
4. 生産機械の更新や新たな資本整備等を見据えた経営体力を保持するため、事業総利益は職員一人当たり1千万円を目標に組合資本の増強に努める。
5. 国が進める「新たな森林管理システム」は、市と連携して将来あるべき姿の森林経営計画を示し、組合が地域林業経営の担い手として積極的な役割を果たす。

事業領域 (組合員や地域に提供する事項)

1. 成熟した人工林資源のフル活用による付加価値の向上と利用区域の拡大により、多くの組合員等への利益還元を実現し、地域経済の発展に資する。
2. 皆伐・再造林の一貫施業等による低コスト造林を提案して、持続可能な林業経営を実践し、資源の循環利用による森林の多面的機能の強化を図る。
3. 組合の製材原木の確保とともに、連携する製材工場やバイオマス発電などの木材需要の高まりに対し、生産量の増大をもって供給の安定に努める。
4. 「焼畑あつみかぶ」栽培を活用した森づくりを確立して、地域への普及と都市への販売を通してブランド化の確立と交流人口の増加に寄与し、地域の活性化に貢献する。